

AVANTECH

RACING TEAM

Team Release

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup 2026 プロフェッショナルシリーズ 第6戦 鈴鹿大会

10.4(Sun) 決勝レース

ー 最後尾から怒涛の15台抜きを果たすも痛恨のペナルティ ー



チームとしてシーズン2戦目の戦いとなるGR86 / BRZ Cup プロフェッショナルシリーズ鈴鹿大会。ドライバーには昨年度のFIA-F4選手権シリーズチャンピオンで今シーズンはSUPER GT 300クラス、全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権、スーパー耐久シリーズで活躍中の鈴木斗輝哉を起用。前日の予選では一時トップタイムとなる8番手タイムを記録するもトラックリミット(走路外走行)違反でタイム抹消。決勝は最後尾38番手スタートとなりましたが、スタートから怒涛の追い上げで15ポジションアップを果たし23位でチェッカーを受けるも黄旗中の追い越し判定によりレース結果に30秒加算で最終結果は35位となった。トラックリミット(走路外走行)違反で8番グリッドスタートを失い、決勝もペナルティによりリザルトは残らなかったものの、一時トップタイムをマークした予選、そして15台抜きを果たした決勝とシーズン2戦目にして大きなインパクトを残し、ドライバー・チームともにレースの結果以上に大きな収穫を掴み取ることができた鈴鹿大会でした。引き続き、AVANTECH racingteam.ならびに、鈴木斗輝哉選手への熱いご声援よろしくお願いします。

■決勝レース結果

35位 ※23位チェッカー 30秒加算ペナルティ(38番手スタート)

StarFive
Motor Racing Store

NET2 HYOGO

BRIDGESTONE

sparco
POWER OF PERFORMANCE

Sabelt

NUTEC

XADO
CHEMICAL GROUP

PL0T2
RACING & PERFORMANCE

EXEDY
RACING CLUTCH

FUJITSUBO
EXHAUST SYSTEMS

Piro Racing

AVANTECH

RACING TEAM

Team Release

■ドライバー 鈴木 斗輝哉 コメント

決勝は15台を抜いて23位チェッカーで大きくポジションアップすることができました。
レースウィークを通して予選での4脱(トラックリミット)が非常に痛かったのですが存在感を示すことができました。
決勝中もセクター4で一時全体ベストを出したりと良い部分が非常に多かったです。
途中セーフティカーが入ってレースのリズムが崩れてしまったのは非常に残念なところですが、
レース中も追上げることができて、自分のパフォーマンスは最大限に発揮することができました。
良い車を作ってくださった関係者の皆様、StarFive、AVANTECHの皆様に本当に感謝したいと思っています。
※ペナルティによるリザルト変更前のコメントとなります。



鈴木 斗輝哉 OFFICIAL SNS



@tokiya.suzuki



@tokiya_s1208

■チーム代表 高崎 保浩 コメント

まずは今大会の参戦に向けてご尽力いただきました多くの皆様、誠にありがとうございました。
予選では一時トップタイムを記録するも走路外走行によりノータイムとなってしまいましたが、鋭くて勢いのある
ドライビングを披露する事ができたと思います。最後尾38番手からスタートした決勝ではスタート直後から果敢な
バッシングを連発し、最終的には8周という短いレースながら23位まで順位を上げてチェッカーを受けることが
できました。レース中盤のセーフティカー導入がなければ、更なるポジションアップも充分可能だったと思います。
結果としては残すことはできませんでしたが、鈴木斗輝哉選手の持ち前のスピードとインパクトは
記憶として残すことができました。今回の経験をもとに、鈴木斗輝哉選手にはこれからも各カテゴリーで
飛躍し続けていって欲しいと思います。



TEAM OFFICIAL SNS



@avantech_racing



@AVANTECHrt



Avantech racing team

TEAM OFFICIAL WEB SITE

<https://avantech-rt.com/>

NET2 HYOGO

BRIDGESTONE



Sabell



Piro Racing